

横浜市立万騎が原中学校 学校だより



桐の花

令和6年6月25日

校長 綿貫 芳人

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

変わらぬ大切なもの

校長 綿貫 芳人

今月の初めには体育祭が開催され、たくさんの保護者・地域の皆様に来ていただき感謝申し上げます。たくさんの観衆の中で、全校生徒による学校行事を行うことができたことの意義を改めて感じる事ができた日でした。昨年度より、より良い体育祭にしようという体育祭実行委員の意気込みが感じられ、「勝破笑美戦(かっぱえびせん)」というスローガンを胸に、どの学年、学級も躍動していました。次の学校行事である「桐花祭」でも、たくさんの保護者・地域の皆様に来ていただくことが、生徒たちと教職員の励みになります。心よりお待ちしております。

先日、地域の方からお電話をいただきました。内容は、「二俣川商店街で具合が悪くなった高齢の女性を、万騎が原中学校の男子生徒3人が声をかけて、坂の上の自宅まで送り届けていました。名前も学年も聞くのを忘れてしまいました。申し訳ありません。もしわかったらその3人を褒めてあげていただけたらと思います」とのことでした。男子生徒が高齢の女性にどんな声掛けをしたのか、家までの道のりにどんな会話をしたのかはわかりませんが、きっとその空間は温かい空気に包まれていたことと想像ができます。電話をくださった方も幸せな気持ちになり、うれしくて連絡をくれたのだと思います。学校が地域から受ける電話は、あまりうれしくない内容の方が多い傾向にあるので、こういった電話は、学校としてもとてもうれしいし、誇らしく思います。この紙面を通して、この3人の男子生徒へは感謝を伝えたいと思います。

先日、報道番組のなかで、「カレーハウス CoCo 壺番屋をフランチャイズ展開するスカイスクレイパーの新社長に22歳の女性が就任」という特番をやっていました。新社長の経歴やパーソナリティーなどを追いながら、なぜ彼女が新社長に就任するに至ったのかを説明する興味深いものでした。彼女は神奈川県内の高校生の時、CoCo 壺でバイトをはじめ、以来7年間接客に全身全霊をかけてきたそうです。最初はうまくいかなかった接客も、ロールモデルを見つけ、ひたすら真似をすることで「接客のプロ」となったそうです。それにしても、なぜこの若さで社長に選ばれたのでしょうか。前社長は、「とにかく、素直さ、明るさ、ポジティブさ、そして“人として”優れていること」と決断の理由を語っていました。いい人材はいい会社に行く、良くない会社にはよくない人しか来ない、という考えから、自らの経営理念にピッタリの新社長だったというわけです。

「“人として”優れている」というのは、他者から評価されるもので、自分ではなかなか評価しづらいものだと思います。また、何をもちって優れているというのかも、人によって違い、きちんとした物差しがあるわけではないので、曖昧な感じがします。しかし、私たちが幼稚園の時から言われている「嘘をついちゃダメ」「人に優しくなさい」「自分が嫌なことを相手にしちゃダメ」などということは、いつの時代でもだれにとっても変わらぬ大切なことなので、日々心掛けたいものです。前述した3人の男子生徒の話や CoCo 壺の新社長の話は、とってもいい話です。どんな時代でも人の心を動かすのは、私たちが当たり前で教わってきたことなのだという安心も感じます。万騎が原中学校の生徒の皆さん一人ひとりが持っている、優しさ・明るさ・素直さ・ポジティブさなど、「自分の良さ」をますます発揮し、行動して周囲の人たちを幸せにしていってほしいと思っています。がんばれ万騎中生！